（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	古民家ゆめの森こども園

公表日　2026年11月25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	利用定員と活動スペースは十分に確保できています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	0	国の基準人数は確保できていますので、現在のところ職員を増員する予定はありません。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	生活空間は古民家の温かい家庭的な雰囲気を大切にし、はっきりとした部屋割りなどはせず、臨機応変に子ども達が楽しめるようにしています。各自の持ち物を入れるロッカーについては固定せず高学年以上については自ら空いている場所を探し自分で決めて使用するようにし、低学年は自分の持ち物を収めて管理することに焦点を当ててロッカーの場所は名前を付けて他児と交じわらないように工夫しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	生活空間については高年齢の子ども達を中心に将来の自立を目指して掃除をして帰るようにしたり、降園後は再度職員で掃除をして危険な箇所がないか確認をするようにしています。	木造建築（民家）なので走り回ったり、身体を動かしたりするには狭く感じるため、園庭を含め戸外で活動するよう声がけをしているが球技や思い切り走り回るなどの活動は面積的に難しい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	体調不良時やクールダウンが必要な時など個別の部屋が必要と感じた時は職員が使用する部屋に移動するよう促したり、他のお友だちに相談をしてそのお子様が安心できる場所（部屋）を空けてもらったりするなどお互いが心地よく過ごせるようにするためにはどうするかを常に話し合いながら部屋を使う工夫をしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	毎日、送迎後に子ども達の気になる言動や、課題点などを短時間でもスタッフ同士で報告したり、話し合ったりするようにしています。参加できない職員には翌日きちんと共有するようにし、報連相を意識するよう努力しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	評価表については職員全体で把握し、保護者様からの意向や改善点等について記載があれば前向きに検討し改善に努めてまいりたいと考えています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	送迎後の振り返りや定期的なスタッフミーティング、個別のケース会議等を行い業務に繋がるようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6		第三者による外部評価は行っておりませんが、市や県の監査を受けたり、地域の方からのアドバイスを受けたりして業務改善に努めています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	園内、または関連施設等との共同研修などは定期的に行い、職員の質の向上に努力しています。	外部での研修等にはあまり参加できていないので今後職員から自主的に参加したい研修を中心に必要に応じて参加する努力をしていきたいと考えています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	放課後等デイサービスガイドラインに準じて作成し、ホームページで公表しています。	

適切な支援の提供	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	子ども達一人ひとりとの対話を大切にし、その中で日常生活、学校生活、家庭、または子ども自身の悩みを引き出し、必要に応じては保護者に確認をしたり、職員間で共有したりしながら計画に入れるようにしています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	平素から子ども達の気になる言動については児童発達支援管理責任者に報告してもらい、職員全員で共有するようにしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	7	0	個別支援計画書については作成前後に職員間で話し合ったり、確認をしたりし共通理解のもと支援を行うように心がけています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	アセスメントについては子ども達と生活の中で1対1になる機会をつくり、自然な形で実施規定的なものの使用はしていませんが、職員全体でお子様一人ひとりの声を受け止め、確認や検討を繰り返しながら支援をする努力をしています。	子ども達一人ひとりの特性が違うため標準化されたツールについては意識をして取り組んでいませんが、今後情報を取り入れながら検討しアセスメントをより充実させていきたいと考えています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		法改正により放課後等デイサービスガイドラインを踏まえながら個別支援計画書を作成していると思うが、今後さらに改善点があれば見直していきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	定期的に立案会議を行い、その中に子ども達から出る意見や要望等を検討しながら職員同士のチームワークを大切にした活動内容を決めています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	児童を支援する職員を固定化せず、いろいろな職員が関わりをもって支援することで活動に変化をもたせたり、子ども達自身で活動を話し合わせたりすることで活動が固定化しないようにし、同じ活動でも内容に変化があるようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	子ども一人ひとりの得手不得手、または気持ちの状態などを踏まえながらじっくりと個別で集中したり、いろいろな友だちを誘い関わりをもって楽しめる活動を計画に取り入れるようにしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援開始前には短時間でも必ずミーティングを行い職員自身の体調を確認したり、支援の内容、役割分担、送迎時間や担当の確認などをするようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	子ども達の送迎後に必ずその日に関わった子どもの様子や気になる言動、また送迎時に保護者様や学校から伝えられた内容を共有するようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援終了後に子ども達の様子や気になることなどを記録者の主観が入らないよう周囲の職員同士で検討しながら記録をするようにしています。	子ども達の様子は記載しているが、なかなか支援についての記載ができていないことがあるので今後職員で見直したり、検討会などをして記録のとり方を学ぶ機会を設けていきたいと考えています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	保護者の負担をできるだけ軽減できるよう出来るだけ個人LINEや送迎時にご家庭での様子や意向を聞いて確認をしたり、利用時の様子などをお伝えしたりするようにしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	1	ガイドラインの「4つの基本方針」についてはご家族の意向を確認しながら、それぞれを組み合わせながら計画をたて、自信をもって生活できるよう支援しています。	

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	職員主導の活動にならないよう職員と子ども達、または子ども同士で話し合う場を設けて活動やルールを決めたり、活動が見つかりにくい子どもに対しては幾つかの活動を提案し自己選択、自己決定ができるよう工夫しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	各関係機関との支援会議には児童発達支援管理責任者が必ず出席しています。また、必要に応じては特定の子どもに関わること機会が多い保育士に同席をお願いすることもあります。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	日頃通っている学校とは支援会議以外でも必要に応じては連携して支援を行えるようお願いをしています。また、かかりつけ医やその他の教育機関等とは必要があれば連携することを考えてはいますが、現在特に連携が必要と判断される子どもの利用はありません。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	毎月保護者様から「利用予定表」で学校の下校時間、行事等による利用の有無、帰りの送迎等を知らせてもらうようにしています。また、予定表提出後に生じた学校行事等の変更については基本的には学校と保護者様で連絡を取り合っていただくようお願いし、緊急対応を要する予定変更、学校内でのトラブル、体調不良などについては学校や保護者と直接連絡をとり、迅速な対応ができるようにしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	就学時の入所児童については支援会議や必要に応じては保護者様の許可を得たうえで、入所前にご利用になっていた事業所に来訪し情報提供をお願いすることもあります。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		現在該当する子どもはいませんが、今後必要であれば保護者の許可を得て情報提供をすることも検討していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	2	5		現在該当する子どもはいませんが、今後必要であれば本人が関わってもらっている専門機関から助言等を伺い、職員間で情報を共有して支援内容の改善や支援方法の向上に役立てたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		通常児童クラブ等との交流は基本的に行っていません。地域（校区内）の子ども達との交流については学校行事または、地区の交流会などを利用していただいています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5		協議会等への参加はできておりません。今後、検討していきたいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時や一人ひとりのグループLINEを使ってちょっとした成長の姿を含むお子様の様子をお伝えするようにしています。また、発達の状況や課題については計画書の確認時に児発管が直接口頭でお伝えし保護者と共有できるようにしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	研修としてのペアレントトレーニングは現在していませんが、保護者からご相談があった時はご両親揃って子どもの対応の仕方についてアドバイスをさせていただくことはあります。	必要に応じて開催したいと思いますが、今年度はまだ実施できていません。今後状況をみながら実施の検討をしていきたいと思います。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	利用前の見学時や契約時に説明させていただいております。また、変更等があればその都度個別にお伝えさせていただいております。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	個別支援計画書の作成について子ども達には日々の中で話しをしたり、保護者には送迎時間を利用したりしてご意向や現在の様子、この先どのように生活できることが理想なのかなどを直接確認するようにしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	7	0	送迎時にアポを取りご家族と直接お会いして支援内容等を伝えるようにしています。その際、記載内容が理解していただけるよう出来るだけ具体的に説明するようにしています。	なかなかお会いできない、時間がないとおっしゃる保護者もおられるので、慌てている時は事務的で一方的な説明になってしまうことがあるので今後は伝え方を考えていきたいと思います。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	相談依頼があった時は必要に応じて事業所の方に来訪してもらったり、電話等で受けるようにしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	0		必要に応じて開催したいとは思いますが、今年度はまだ実施できていません。今後状況をみながら実施の検討をしていきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	子ども達やご家族から苦情が出た場合はきちんと受け止め、できる限り迅速に対応できるよう心がけ、職員全体で共有するようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	年に数回だがお便りの発行や、HP,LINEなどを使っていろいろな情報やイベント等を発信するようにしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の取り扱いについては十分に気をつけています。今後も適切に管理できるよ注意していきたいと思います。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	言葉が不明瞭でわかりにくい子には視覚的に提示したり、二者択一で選択できるようにしたりするなど本人が伝わらない事に苛立ちを感じないよう配慮するなど工夫しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	事業所の取り組みをご理解いただくためにも年に数回マルシェをしたり、地域の方にもさまざまな行事に参加していただいたりするなど開放的にすることで地域の方と一緒に楽しめる機会を計画し発信していきたいと思います。	
非常時等の対	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		マニュアルはそれぞれ作成をしています。職員間では折に触れ目を通して確認をして避難訓練などを計画したりしていますが、ご家族様にはなかなか周知する機会がないので保護者会等を開催し周知に努めていきたいと思います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	さまざまな災害を想定しながら定期的に職員間で確認し合ったり、訓練をしたりしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	入所前のアセスメントや、面談で服薬や受診等について確認をしています。また、定期受診に行かれた際には結果や服薬の有無などを伺い、職員間で必ず共有するように心がけています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	入所前のアセスメントで食物アレルギーなど体質上の気をつける点についてはしっかりと聞き取り職員間（特に調理に関わる職員）で共有しています。また、医師の意見書等がある子に関しては指示に従って対応するように心がけています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	年間の避難訓練計画や実施後の報告書作成に加え、職員間での振り返りは必ずするようにしています。また、玩具や備品、作業道具などは破損個所がないか職員が定期的に確認するようにしています。	

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7	0		避難訓練の報告などは保護者様にその都度お便りや、LINE等でお伝えするようにしていますが、安全計画書などについてはなかなか細かく説明ができていないので今後ご理解いただくためにも検討していきたいと思います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	事故や怪我等についてはもちろん、そこに繋がる状況や子ども達の様子についてはその都度すぐに責任者に報告し、報告書に記載すると同時に職員全体で共有したり、今後の対策を話し合うようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	最低でも1年に1回は研修を行なっています。また、新しい職員や長期休暇のボランティアの方にもきちんと研修を行ない、虐待に繋がったり、周囲から勘違いされる行為がないようお互いに意識しながら支援するようにしています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		現在、特に必要性のある子どもの利用がないため、計画書への記載はしていません。